

# 第44回 抗議集会・学習会

## 5月14日(土)

◆抗議集会 午後1:30 集合  
烏山区民センター前広場

新型コロナウイルス感染症対策のため、デモ行進は行いません。

◆学習会 午後2:30 開会  
烏山区民センターホール

高橋シズエ氏(「地下鉄サリン事件被害者の会」代表世話人)も参加します。



烏山地域  
オウム真理教対策  
住民協議会

## 講演 「オウム真理教との闘い、 裁判そして今」



講師：オウム真理教犯罪被害者支援機構  
副理事長 中村 裕二氏

東京高等裁判所は、2020年1月22日、Aleph (アレフ) に対し、オウム真理教犯罪被害者支援機構(以下「支援機構」)に約10億2500万円を支払うよう命じる判決を下した。その後、Aleph がこれを不服として上告等したが、最高裁判所は、同年11月17日、Aleph の上告等を棄却する決定を下して同判決が確定した。支援機構がAleph から債権をどのようにして回収するか、大きな課題に直面している。

### <略歴>

- 1956年5月 東京都で出生
- 1979年3月 中央大学法学部法律学科卒業
- 1987年4月 東京弁護士会に弁護士登録
- 1989年～1990年 英国留学
- 1990年～ 未来市民法律事務所所長
- 1992年～2000年 中央大学法学部講師(憲法担当)
- 1995年～ 地下鉄サリン事件被害対策弁護団事務局長
- 1998年～1999年 東京弁護士会人権擁護委員会副委員長
- 2006年～ オウム真理教犯罪被害者支援機構副理事長
- 2008年～2016年 狛江市教育委員会委員
- 2009年～ 東京弁護士会弁護士業務妨害対策委員会委員

以下の図書に、中村氏の法律家としての活動歴が紹介されています。

### <参考図書>

- \*村上春樹著「アンダーグラウンド」(講談社)
- \*江川紹子著「横浜・弁護士一家拉致事件 ヒューマン・リポート」(新日本出版社)
- \*小林よしのり著「ゴーマニズム宣言第7巻、同第8巻」(扶桑社)
- \*高橋シズエ著「ここにいること」(岩波書店)など。

主催：烏山地域オウム真理教対策住民協議会

後援：世田谷区

# 大学新生に注意喚起！

今年2月、世田谷区内にある11大学に依頼して、新入学生を対象に「日本脱カルト協会」発行のカルトの勧誘を防ぐためのパンフレット『その勧誘だいじょうぶ？』の配布を行いました。

このパンフレットの配布依頼も18年目となります。オウム真理教が起こした史上空前の地下鉄サリン事件等を知らない世代に対して、マインドコントロールの怖さや、巧妙な誘いの手口を紹介し、警鐘を鳴らすために配布を続けています。

新入生への配布にご協力頂いております各大学には、心より御礼申し上げます。



# 事件後のオウム真理教と周辺住民

昭和59年2月にオウム神仙の会が設立され、その3年後、オウム真理教と改称した団体は、東京都から宗教法人の認定を得たのち、坂本弁護士一家殺害事件、政治団体の立ち上げ、元信者リンチ殺人事件、VXガス使用殺人事件、目黒公証役場事務長拉致監禁致死事件、地下鉄サリン事件など、前代未聞の事件を起こしました。

平成7年に麻原彰晃こと松本智津夫

元死刑囚を逮捕。裁判が進む中、宗教法人としてのオウム真理教に、東京地裁が宗教法人法に基づく解散命令を決定(12月確定)、翌年、東京地裁が破産法に基づく破産宣告をしました。

宗教法人として活動できなくなったオウム真理教は、化学プラントなどがあった山梨県の上九一色村(現在の富士河口湖町の一部)から撤退。全国の支部などに信者が散らばることになりました。その間も逃走していた指名手配者をかくまったり、資金援助していたのではないかとされています。

平成10年の年末ごろから、再び教団が各地で土地や建物を確保する動きが見られるようになり、その進出を阻む住民との摩擦が大きくなっていきました。平成11年4月には「オウム真理教対策関係市町村連絡会」が結成され、全国各地の活動などの情報が共有されるようになりました。

オウム真理教はアレフと名称を変え、平成12年(2000年)12月、千歳烏山駅北側のマンションの1階と2階の一部に入居。突然の出来事に、烏山地域の住民に衝撃が走りましました。翌年1月には、入居した

マンションの扉に暴力団が発砲をするという事件まで発生しました。世田谷区や公安調査庁、成城警察だけでなく、地元住民としてしっかりと対応していくために、1月9日、烏山区民センターで住民決起集会を開催し、烏山地域オウム真理教対策住民協議会が結成されました。地下鉄サリン事件から5年の年月が経っていましたが、事件の記憶が生々しくまだ残る中のことでした。

烏山地域では独自に、オウム真理教が起こしてきた事件の被害者や関係者、有識者などを招いての学習会、区内の大学や短大の新入生が勧誘に乗らないように注意喚起するチラシの配布。入居マンション前での監視活動などを精力的、積極的に行ってきました。現在も、烏山地域の町会・自治会、各種団体、PTAの皆様のご協力のもと、この監視活動を続けています。

烏山にいた信者の約半数は現在、足立区に移りましたが、アレフから分離した上祐史浩率いる「ひかりの輪」は現在も烏山で活動し続けています。

地下鉄サリン事件から27年。危険、危機はあなたのすぐ近くにあるかもしれません。今一度、オウム真理教の流れを継ぐ団体「ひかりの輪」が烏山で未だに活動していることを認識していただき、抗議活動、監視活動にご理解とご協力をお願いします。



▲ 地下鉄サリン事件(1995年3月20日 霞ヶ関駅)

協議会ホームページアドレス <http://www.kyogikai.jp>

この協議会ニュースは、皆様の募金により発行されています。